

Excel マクロ管理ツール マニュアル

この度は、Excel マクロ管理ツールをダウンロードいただきありがとうございました。

このツールは、情報資産を有効に活用することを目的としており、主として Excel マクロ（※）を管理し、整理や共有するためのものです。

マクロの達人はもとより、マクロを書けない方、勉強中の方が使用することを想定して作成しています。有効にご活用いただけると幸いです。

※ VBA のコード全般を便宜上マクロと呼んでいます

[目次] ……クリックで該当ページに移動します

■ Excel マクロ管理ツールでできること

■ ツールの主な機能と操作手順

フォームからデータベースにマクロを登録

アクティブブックのマクロ取り込み

データ編集とマクロの利用

アクティブブックにマクロを一括追加

データベース検索

データのエクスポート

データのインポート

Web からインポート

データベースのバックアップと復元

■ 画面説明

メインフォーム

アドインマネージャー

マクロのセキュリティ

■ ツールの使用手順

ツールの使用手順

■ Q.&A

Q. ツールのデータベースにマクロ以外は登録できますか？

Q. このツールで気を付けることはありますか？

Q. どのくらいの量のマクロをデータベースに登録できますか？

Q. プロシージャとは何ですか？

Q. [Web からインポート] コマンドをクリックしたら、次のようなメッセージが表示されました。どうしたらよいですか。

Q. ツールがバージョンアップした場合に、使用中のツールと入れ替えるにはどうしたらよいですか？

Q. [アクティブブックのマクロを取り込み] コマンドや [アクティブブックにマクロを追加] コマンドをクリックしたら、次のようなメッセージが表示されました。どうしたらよいですか。

Q. ツールをキーボードで操作することができますか？

■ バージョン情報

■ 動作確認

■ 著作権

■ 免責

■ 問い合わせ先 他

■ Excel マクロ管理ツールでできること

Excel マクロ管理ツールでは、次のようなことができます。

- ・マクロをツール内のデータベース（以下、データベース）に記録し管理する
- ・特定のワードでデータベースを検索し該当するマクロを抽出する
- ・アクティブブックのマクロをデータベースに一括で取り込む
- ・データベースに記録してあるマクロをアクティブブックのモジュールに追加する
- ・データベースのデータを専用ファイルとしてエクスポートする
- ・専用ファイルをデータベースにインポートする
- ・ツール専用 Web サイトから任意のマクロをデータベースにインポートする
- ・データベースのバックアップファイルを作成しデータを復元できるようにする
- ・データベースに記録してあるマクロを HTML ファイルとして出力する

他

■ ツールの主な機能と操作手順

フォームからデータベースにマクロを登録

データベースへのマクロの登録機能です。

動画「[フォームからマクロを登録する手順](#)」

アクティブブックのマクロ取り込み

アクティブブックのマクロを一括でツールのデータベースに取り込む機能です。

動画「[アクティブブックのマクロを取り込む手順](#)」

データ編集とマクロの利用

取り込んだデータの編集・利用機能です。

動画「[データの編集とマクロを利用する手順](#)」

アクティブブックにマクロを一括追加

アクティブブックにモジュールやマクロを追加する機能です。

動画「[アクティブブックにマクロを追加する手順](#)」

データベース検索

ツールのデータベースを検索する機能です。

動画「[データベースを検索する手順](#)」

データのエクスポート

マクロを専用ファイルとしてエクスポートする機能です。

動画「[データを専用ファイルとしてエクスポートする手順](#)」

データのインポート

専用ファイルをインポートする機能です。

動画「[専用ファイルをインポートする手順](#)」

Web からインポート

専用 Web ページからマクロをデータベースにインポートする機能です。

動画「[専用 Web ページからマクロをインポートする手順](#)」

データベースのバックアップと復元

データベースのバックアップファイル作成とファイルを取り込む機能です。

動画「[データベースのバックアップと復元の手順](#)」

■ 画面説明

メインフォーム

※サブフォームについては、前項「ツールの主な機能と操作手順」の動画でご確認ください

Excelマクロ管理ツール 閉じる: [Alt] + [Q]

【分類】

印刷・PDF関連
検索関連
住所関連

↑
↓

追加 削除 変更

【一覧】

セルに値を設定しながら連続でPDF出力
セルに値を設定しながら連続で印刷

↑
↓

全コードコピー 移動 追加 削除 変更

【説明】 85/30000

アクティブシートの任意のセルに値を連続で設定し、PDFファイルとして出力するマクロです。
出力範囲の設定は、印刷範囲になります。値の設定は予め行っておく必要があります。

クリア 戻す コピー

【メモ】 (使用例等 モジュールへの記載を前提とした内容) 3/30000

'メモ

クリア 戻す コピー

【マクロ名・プロシージャ名】

セルに値を設定しながら連続でPDF出力

クリア 戻す コピー

【コード】 1217/30000

'Sub セルに値を設定しながら連続でPDF出力()
'定数
Const START_NUM As Long = 1 '開始番号
Const END_NUM As Long = 40 '終了番号
Const C_STEP As Long = 1 '間隔
Const C_ADDRESS As String = "A1" 'セル番地
Const C_FILENAME As String = "Sample" '出力ファイルの基準名
'フォルダの選択
MsgBox "出力先のフォルダを選択してください", vbInformation
Dim strFolderPath As String
With Application.FileDialog(msoFileDialogFolderPicker)
If .Show Then
strFolderPath = .SelectedItems(1)
Else
Exit Sub
End If
End With
'アクティブシートをPDFとして出力
Dim strFileName As String
strFileName = strFolderPath & "\ " & C_FILENAME
Application.ScreenUpdating = False
With ActiveSheet
Dim i As Long
For i = START_NUM To END_NUM Step C_STEP
.Range(C_ADDRESS).Value = i
.ExportAsFixedFormat _
Type:=xlTypePDF,
Filename:=strFileName & Format\$(i, "000"), _
OpenAfterPublish:=False
Next
End With
Application.ScreenUpdating = True
'フォルダを開く
Call Shell("C:\Windows\Explorer.exe " & strFolderPath, vbNormalFocus)
End Sub

コード・メモをコピー

クリア 戻す コピー

左から [検索] ボタン / [アクティブブックにマクロを追加] ボタン / [HTML 出力] ボタン / [メニュー] ボタン

Excelマクロ管理ツール

閉じる : [Alt] + [Q]

[分類]

印刷・PDF関連
検索関連
住所関連

[一覧]

セルに値を設定しながら連続でPDF出力
セルに値を設定しながら連続で印刷

[マクロ名・プロシージャ名]

セルに値を設定しながら連続でPDF出力

[コード]

```
'Sub セルに値を設定しながら連続でP
'定数
Const START_NUM As Long = 1
Const END_NUM As Long = 40
Const C_STEP As Long = 1
Const C_ADDRESS As String = ""
Const C_FILENAME As String = ""

'フォルダの選択
MsgBox "出力先のフォルダを選択"
Dim strFolderPath As String
With Application.FileDialog(ms
If .Show Then
strFolderPath = .Selec
Else
Exit Sub
End If
End With
```

選択項目の上下位置を移動します

追加 削除 変更

全コードコピー 移動 追加 削除 変更

選択項目の名前を変更します

選択項目を追加します

選択項目の名前を変更します

選択項目を削除します

[分類] を追加します

[一覧] の全項目のコードとメモをクリップボードにコピーします

選択項目を削除します

選択項目を他の [分類] に移動します

選択項目の名前を変更します

【メモ】（使用例等 モジュールへの記載を前提とした内容） 3/30000

'メモ

```
Next  
End With  
Application.ScreenUpdating = True  
  
'フォルダを開く  
Call Shell("C:%Windows%Explorer.exe  
End Sub
```

クリア 戻す コピー コード・メモをコピー

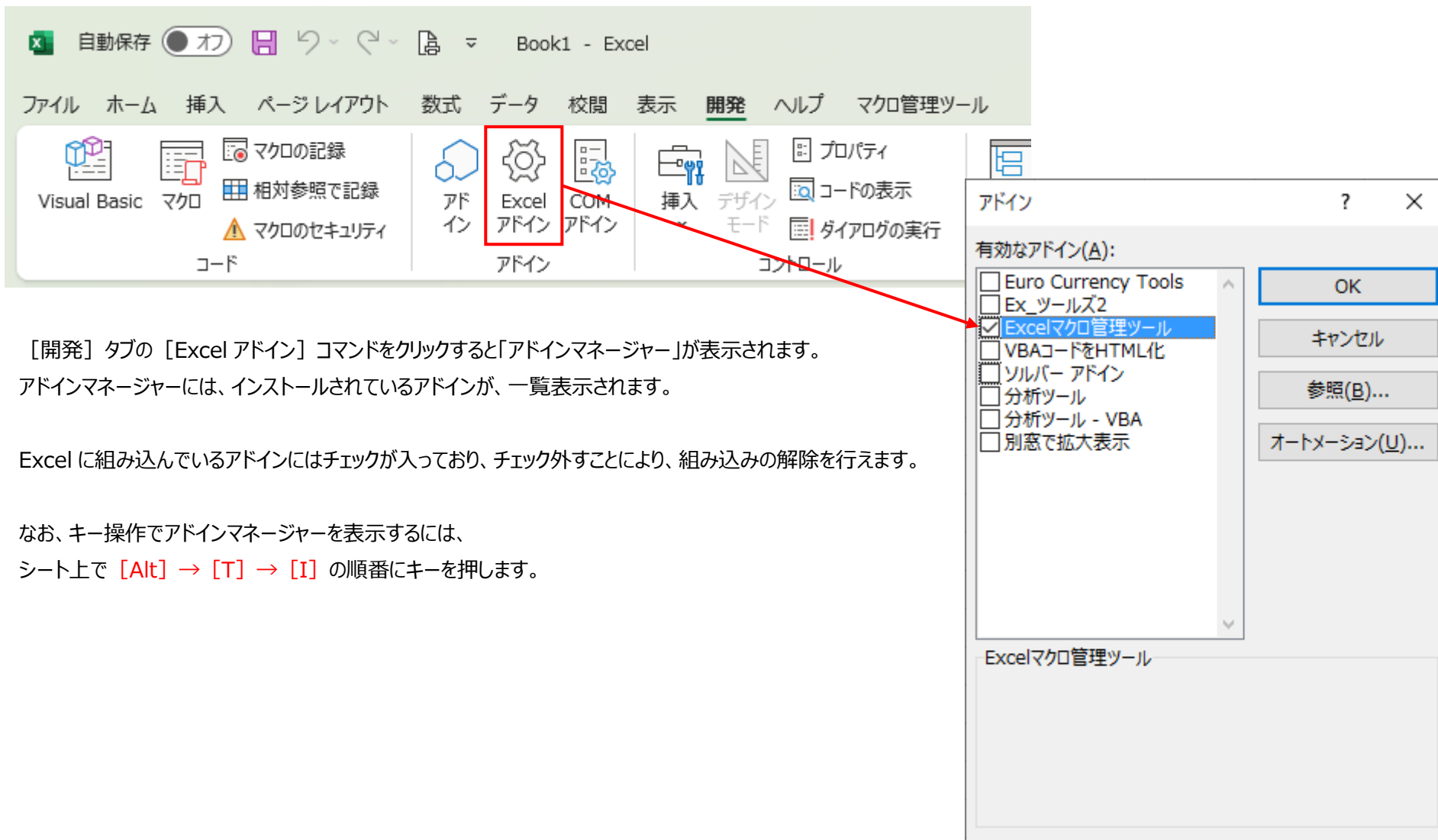
テキストボックスの内容を
クリップボードにコピーします

変更したテキストボックスの内容を戻します

対応するテキストボックスをクリアします

「コード」と「メモ」のテキストボックスの内容をまとめてクリップボードにコピーします

アドインマネージャー



「開発」タブの「Excel アドイン」コマンドをクリックすると「アドインマネージャー」が表示されます。

アドインマネージャーには、インストールされているアドインが、一覧表示されます。

Excel に組み込んでいるアドインにはチェックが入っており、チェック外すことにより、組み込みの解除を行えます。

なお、キー操作でアドインマネージャーを表示するには、シート上で **[Alt] → [T] → [I]** の順番にキーを押します。

アドイン

有効なアドイン(A):

- ☐ Euro Currency Tools
- ☐ Ex_ツールズ2
- ☒ Excelマクロ管理ツール
- ☐ VBAコードをHTML化
- ☐ ソルバー アドイン
- ☐ 分析ツール
- ☐ 分析ツール - VBA
- ☐ 別窓で拡大表示

OK

キャンセル

参照(B)...

オートメーション(U)...

Excelマクロ管理ツール

マクロのセキュリティ



「マクロのセキュリティ」コマンドをクリックすると、セキュリティセンター（※）画面が表示され、マクロの設定項目が選択されています。

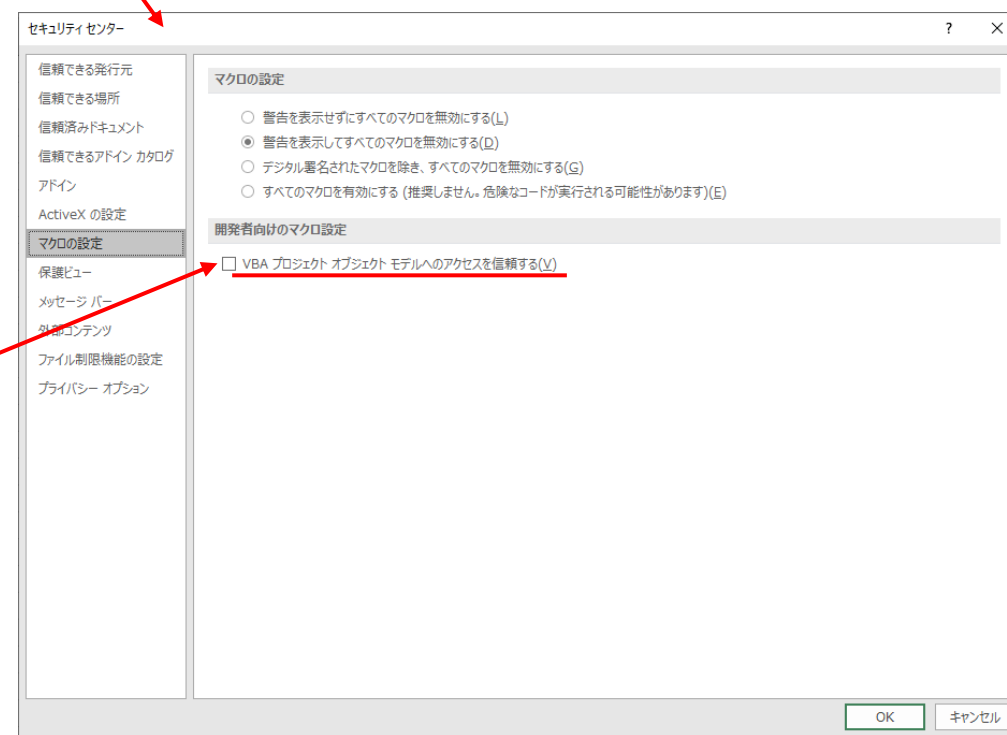
※セキュリティセンター

Office のバージョンによっては「トラストセンター」と記載されています

この画面で、マクロの設定を行えます。

アクティブブックのマクロを取り込んだり、アクティブブックにマクロを追加したりするには、この画面の「VBA プロジェクトオブジェクトモデルへのアクセスを信頼する」にチェックを入れる必要があります。

一般操作でのこの画面を表示するには、シート上で [Alt] → [T] → [O] の順にキーを押し、「セキュリティセンター」→「セキュリティセンターの設定」→「マクロの設定」を選択します。



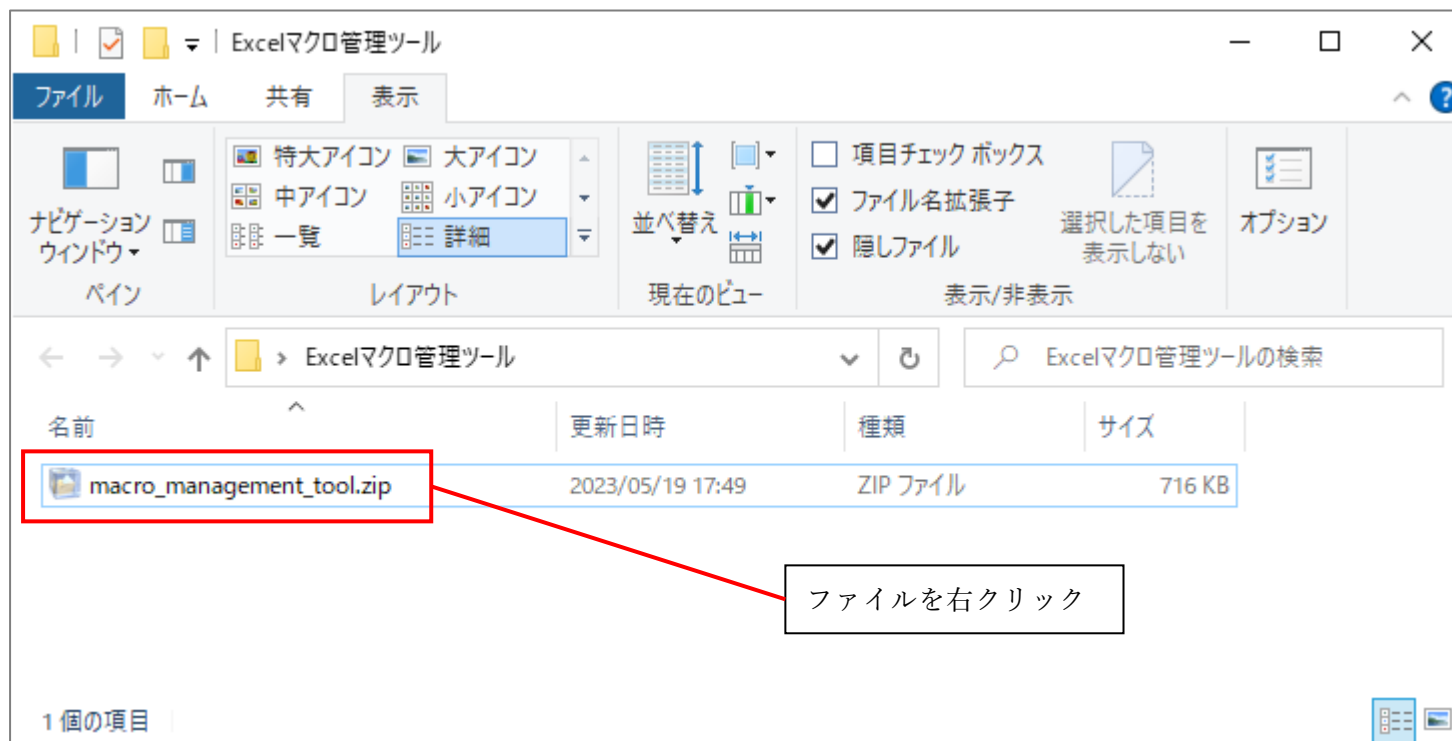
■ ツールの使用手順

ツールの使用手順

動画「[ツールの使用手順](#)」

① 「ダウンロード」したファイルのセキュリティ設定

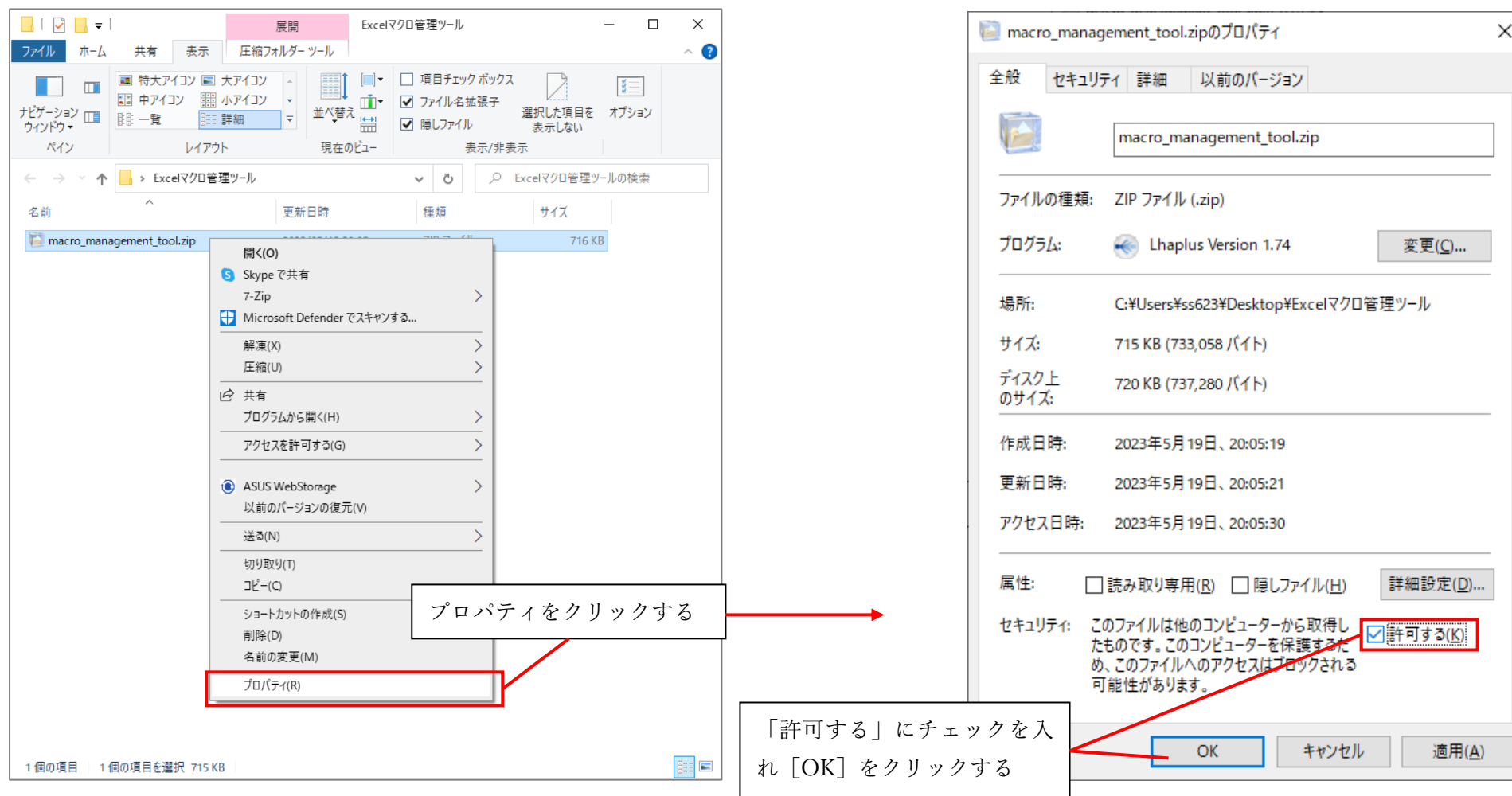
ファイルをダウンロードすると、macro_management_tool.zip がダウンロードされます。zip ファイルを右クリックすると、メニューが表示されます。



右クリックメニューのプロパティをクリックするとプロパティウィンドウが表示されます。

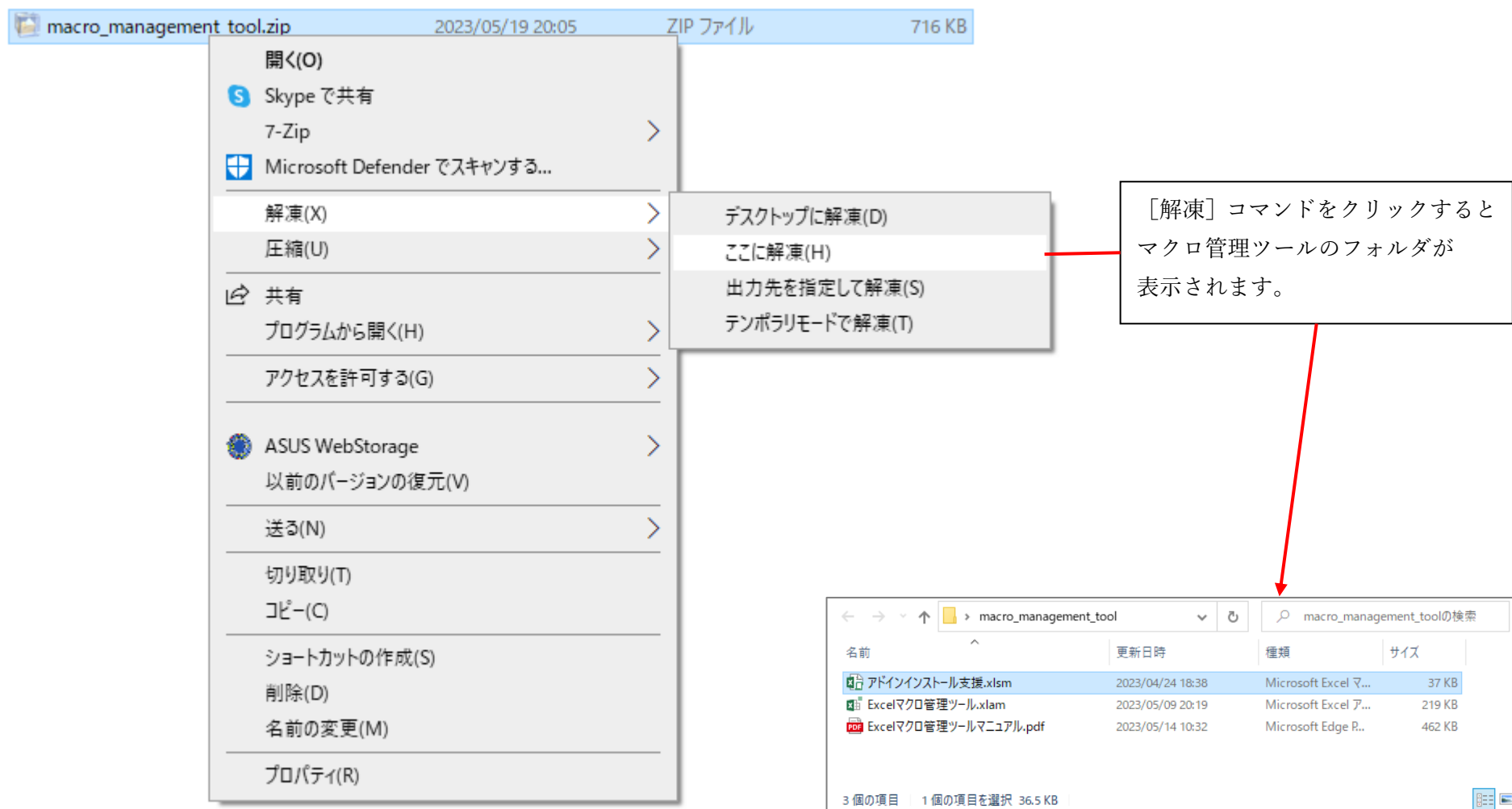
[全般] タブの下部に、セキュリティ項目があります。この項目の「許可する」チェックボックスにチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックするとセキュリティの設定は完了です。

(※ ご使用の環境によっては、セキュリティ項目が表示されないことがあります。その場合は、次のステップの解凍に進んでください)



② zip ファイルの解凍

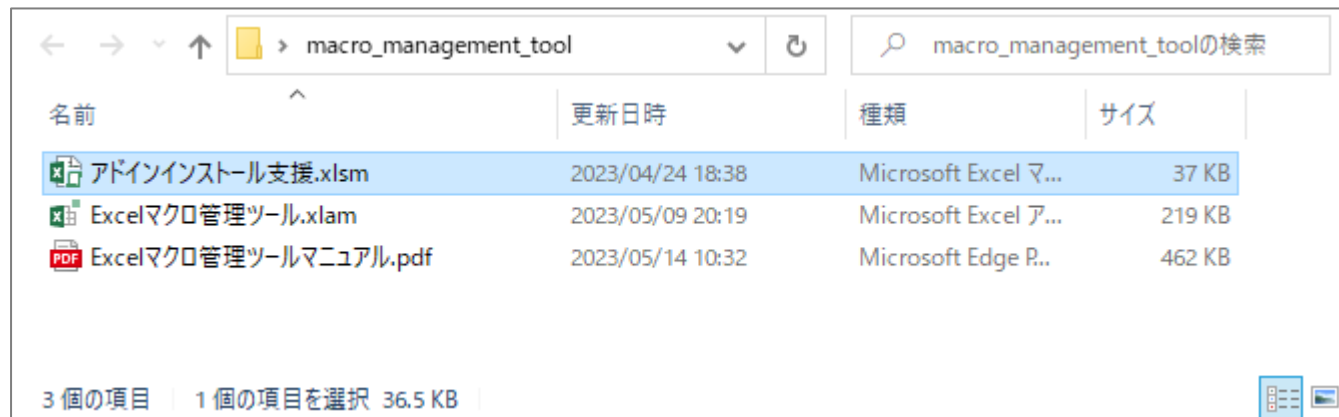
zip ファイルを再度右クリックし、解凍を実行してください。



③ アドインのインストールと組み込み

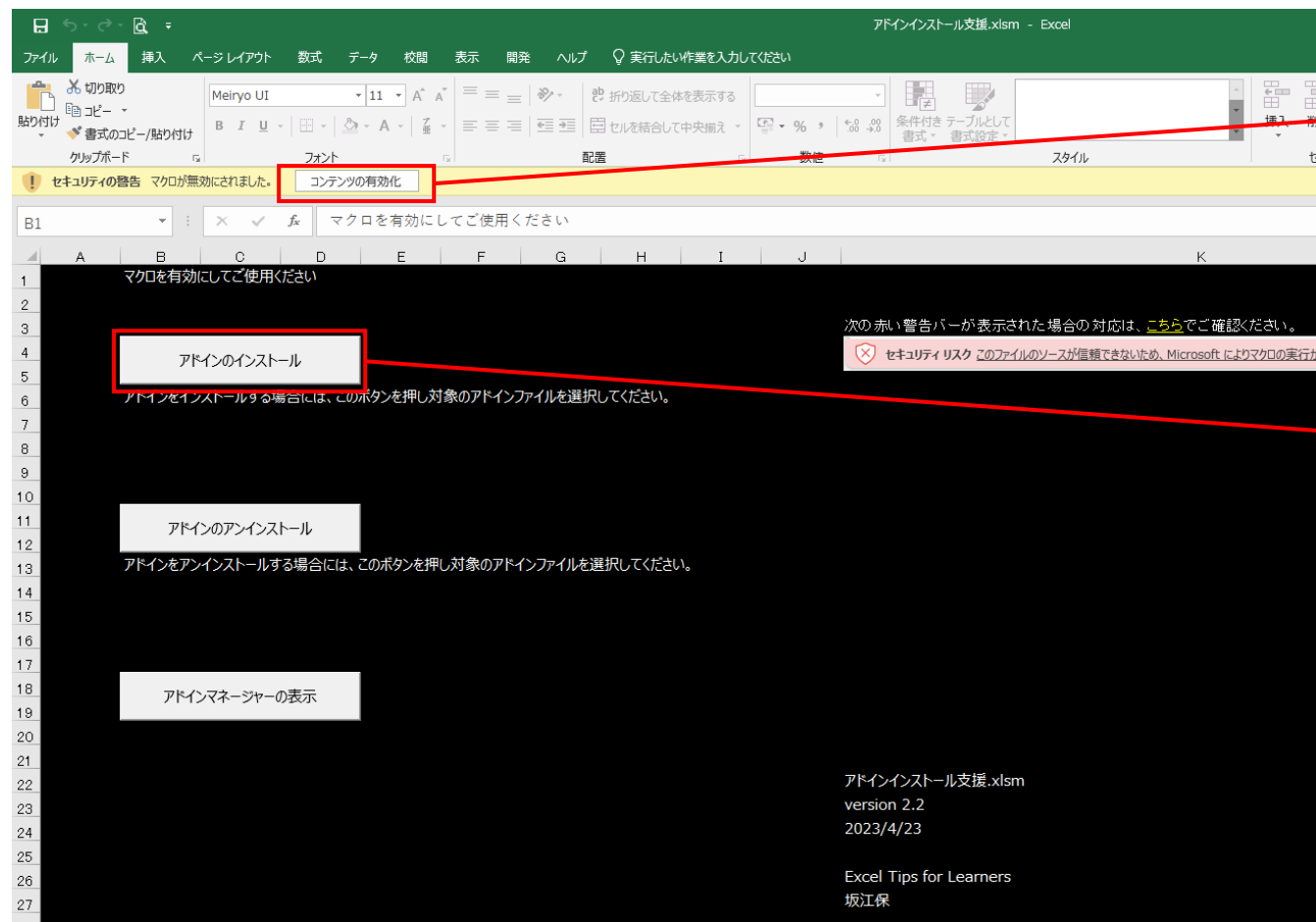
macro_management_tool.zip ファイルを解凍すると、フォルダが表示され、3 つのファイルが入っています。

その中の「アドインインストール支援.xlsm」を開いてください。



「アドインインストール支援.xlsm」を開いたら、コンテンツを有効にしてください。

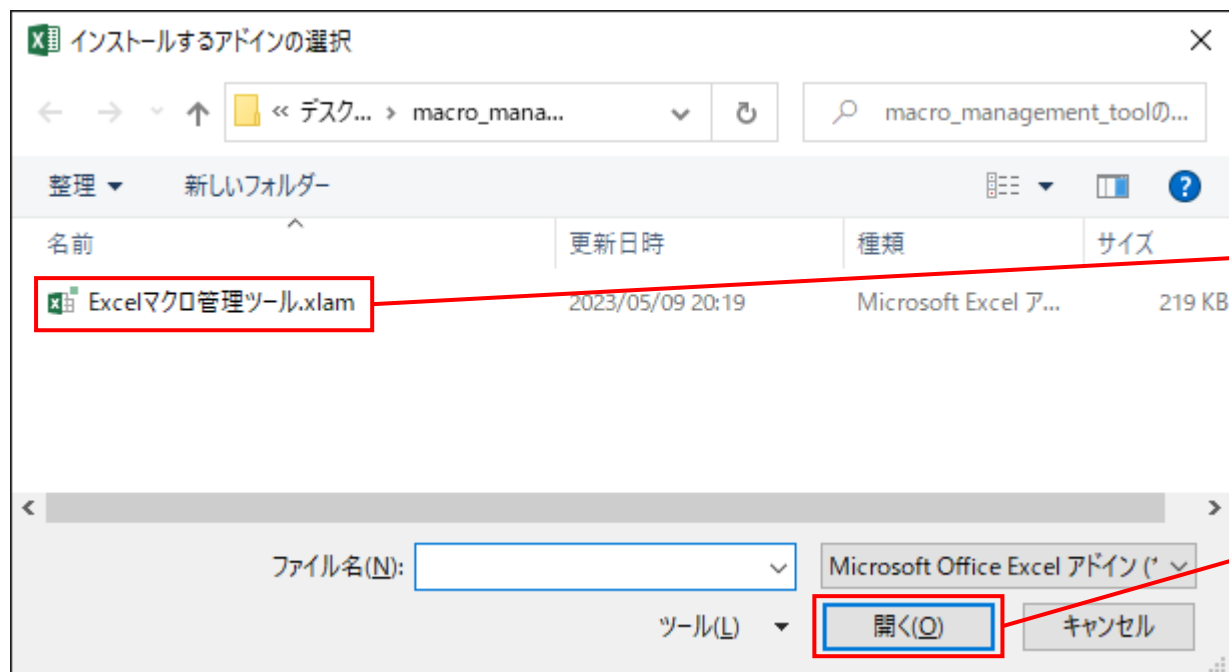
次に「アドインのインストール」ボタンをクリックすると、「インストールするアドインの選択」ダイアログボックスが表示されます。



① [コンテンツの有効化] をクリック

② [アドインのインストール] をクリック

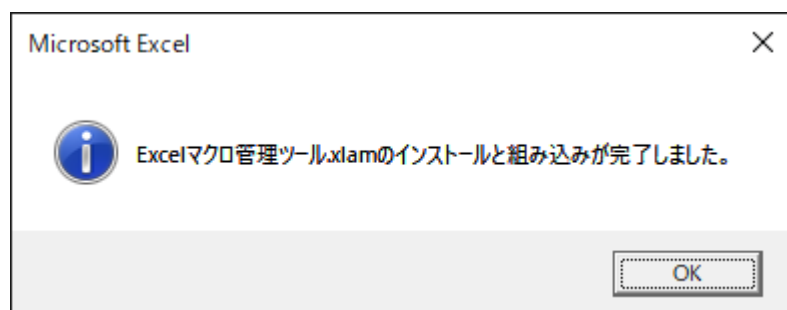
「インストールするアドインの選択」ダイアログボックスで、「Excel マクロ管理ツール.xlam」を選択し「開く」をクリックすると、アドインのインストールと Excel への組み込みが完了します。



③ 対象のアドイン

「Excel マクロ管理ツール.xlam」を選択する

⑤ 「開く」をクリックする



⑥ 数秒待つと、インストール完了メッセージが表示される

アドインのインストールと組み込みが完了すると、リボンに「マクロ管理ツール」タブが表示されます。

「マクロ管理ツール」タブのメニュー（Excel のバージョンによってアイコンの形状が異なっている場合があります）



なお、アドインがインストールされ組み込まれたら、アドインインストール支援.xlsm は終了して構いません。

アドインは組み込みを解除しない限り、Excel を起動すると自動的に Excel マクロツールも立ちあがります。

アドインの組み込みの解除は、[アドインマネージャー](#)で行います。

※アドインをアンインストールする場合には、アドインインストール支援.xlsm の「アドインのアンインストール」ボタンをクリックし、表示される説明に従って操作してください。

■ Q.&A

Q. ツールのデータベースにマクロ以外は登録できますか？

A. ツールのデータベースは、マクロ以外でもテキストデータであれば登録できます。登録できるデータの文字数上限は各項目のテキストボックス毎に 3 万となります。

Q. このツールで気を付けることはありますか？

A. このアドインは、ファイル名を変更すると、複数インストールできますが、同時に複数を組み込んだ（※）場合には、正常に動作しなくなりますので、気をつけてください。

複数インストールした場合には、アドインマネージャーでアドインを切り替えて利用してください。

※アドインマネージャーの該当アドインにチェック入れることを指します

Q. どのくらいの量のマクロをデータベースに登録できますか？

A. コードの長さや説明量にもよるため明確にお応えできませんが、相当数のデータを登録可能です。

ただ、あまりにもデータが多い場合には、Excel の起動や終了に時間を要するようになります。そのため最大 3MB を 1 つの目安にすると良いと思います。

ファイルサイズは、バックアップファイルのサイズを参考にしてください。

なお、あくまで開発者のケースですが、100 項目の登録で 0.35MB 位です。

Q. プロシージャとは何ですか？

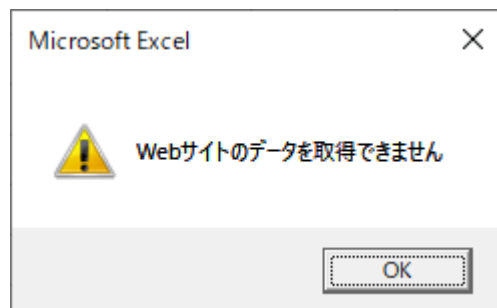
A. プロシージャとは「手続き」という意味になります。コンピュータにおいてはプログラムで複数の処理をまとめ、他のプログラムから利用可能にしたものを、プロシージャと呼びます。

VBA においては主に Sub ～ End Sub や Function ～ End Function 内に処理をまとめ利用できるようにした、1 つのまとまりを指します。

なお、マクロとは Excel においては「Excel の操作を自動化する」機能を表します。そのマクロ機能でプロシージャを呼び出しています。

本ツールにおいては、プロシージャも含めた VBA のコードを便宜上マクロと呼んでいます。

Q. [Web からインポート] コマンドをクリックしたら、次のようなメッセージが表示されました。どうしたらよいですか。



A. Web からインポート機能は、Web への接続が必要になります。そのため、インターネットに接続されている環境でお試してください。

なお、ご家庭の一般的なインターネット環境であれば接続できますが、職場等において、インターネットの接続制限がなされている場合には接続できません。また、稀にインターネット上のサーバーエラーやアクセスが集中した場合等に接続できないことがあります。その場合には、時間をおいてから再度お試しください。

Q. ツールがバージョンアップした場合に、使用中のツールと入れ替えるにはどうしたらよいですか？

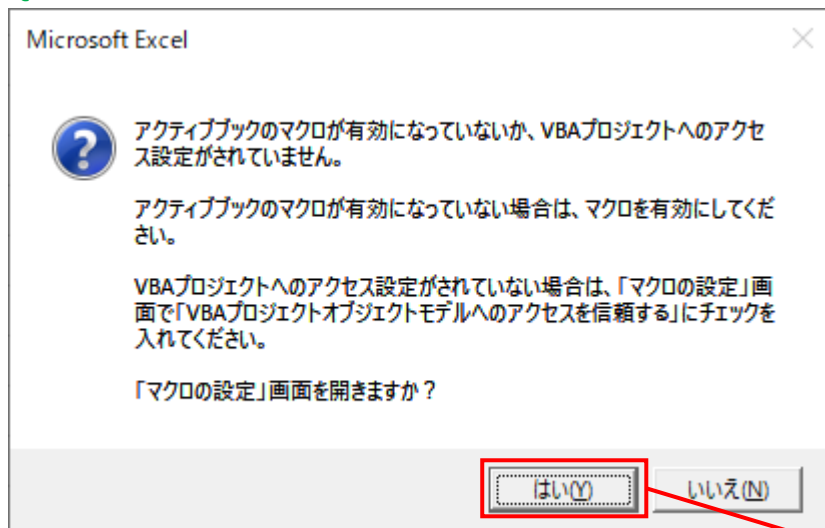
A. 次の手順で入れ替えを行ってください。

- ① 使用中のツールで**バックアップファイルを作成**
- ② 「アドインインストール支援.xlsm」で使用中のツールをアンインストール
- ③ 「アドインインストール支援.xlsm」でバージョンアップしたツールをインストール
- ④ バージョンアップしたツールに**バックアップファイルを取り込み**

バックアップファイルを作成せずにアドインを上書きすると、データが消えてしまいますので、気をつけてください。

定期的にバックアップファイルを作成することを推奨します。

Q. [アクティブブックのマクロを取り込み] コマンドや [アクティブブックにマクロを追加] コマンドをクリックしたら、次のようなメッセージが表示されました。どうしたらよいですか。



A. マクロを有効にするかマクロの設定を変更する必要があります。

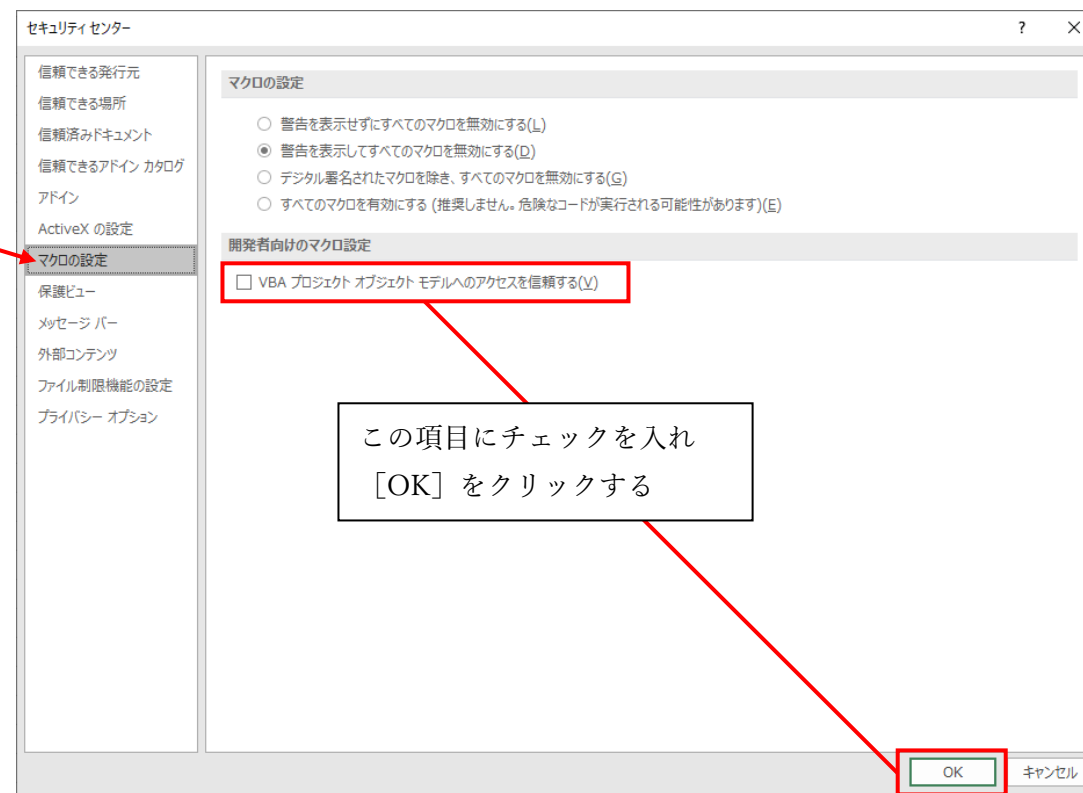
アクティブブックのマクロを有効にしていない場合は、マクロを有効にしてください。

VBA プロジェクトのアクセス設定をしていない場合は、左図のメッセージ画面で [はい] をクリックすると表示される「マクロの設定」画面で、「VBA プロジェクトオブジェクトモデルへのアクセス」を信頼する」のチェックボックスにチェックを入れ、[OK] をクリックしてください。そうすることで VBA からモジュールにアクセスできるようになります。

【補足】

VBA からモジュールにアクセスできるようになると、モジュールのコードを取得したり、モジュールにコードを書き込んだりできますが、誤操作等によりモジュールやコードを消失するリスクがありますので気を付けてください。

なお、本 Excel マクロ管理ツールは、モジュールやコードの参照・追加のみを行っています。モジュールやコードの削除は、行っていませんので、本ツールの使用に関してはご安心ください。



Q. ツールをキーボードで操作することができますか？

A. ツールをキーボードで操作することは可能です。キーボードの操作は以下の通りです。

キー操作	ツールの起動前
[Ctrl]+[M]	ツールの起動

※[Ctrl]+[M]に他のマクロを登録してある場合には、後から登録したマクロが優先されます

キー操作	メインフォーム	サブフォーム
[Alt]+[Q]	メインフォームを閉じる	－
[Alt]+[S]	検索	－
[Alt]+[W]	アクティブブックにマクロを追加	－
[Alt]+[H]	VBA コード → HTML 化	
[Alt]+[M]	メニュー	－
[カーソル]	ボタンのフォーカス移動	ボタンのフォーカス移動
[Tab]	ボタンのフォーカス移動	ボタンのフォーカス移動
[Shift]+[Tab]	ボタンのフォーカス移動(逆回り)	ボタンのフォーカス移動(逆回り)
[Enter]	フォーカスのあるボタンをクリック	フォーカスのあるボタンをクリック
[Esc]	－	サブフォームを閉じる

■バージョン情報

Version 1.0.0 2023/05/21 公開

Version 1.0.1 2023/07/09 フォームを Close 時の処理変更 マクロ取込み・書き込み時の確認メッセージを変更

Version 1.0.2 2025/04/12 一部コマンド削除、コード微修正

Version 1.0.3 2026/04/05 [VBA コード → HTML 化] 機能追加、[分類] 名変更後に分類の順が変わる不具合を修正
メインフォームのテキストボックスクリック時の挙動変更

■動作確認

Windows10/11

Excel2019/Microsoft365

※上記環境での動作は確認済みです

■著作権

「Excel マクロ管理ツール.xlam」「アドインインストール支援.xlsm」はフリーツールですが、著作権は放棄していません。ツール内のコードや仕様の変更はやめてください。
ツールは無断で配布いただいても構いません。連絡をいただけると嬉しいです。

■免責

「Excel マクロ管理ツール.xlam」「アドインインストール支援.xlsm」の開発には十分に気を付けていますが、使用により不具合が生じたとしても責任は負いません。
ツールのご使用はご自身の判断でお願いします。

■問い合わせ先 他

問い合わせ : [メールフォーム](#) バグ報告、問い合わせ、コメント、相談等ありましたらメールフォームよりお願いします。

ツール開発者サイト : [Excel Tips for Learners](#)

[Excel マクロ管理ツール](#)

開発者 : 坂江保